

# 令和7年度 公共工事講習会（下水道工事G資料）

## 1. 取付管ファイル作成について P1～

取付管ファイルの色は『灰(グレー)色』です。

紙ファイルとPDFデータを各1部提出してください。

取付管設置申請書回収時の注意事項を追記しました。

## 2. 撮影箇所および立会一覧表について P6～

令和6年度から特に変更していません。

## 3. 出来形管理表について P9～

マンホールごとではなく、スパンごとにまとめてください。

舗装等も含め、規格値を必ず確認して間違いのないようにしてください。

適用：静岡県土木工事施工管理基準（令和6年9月）

下水道土木工事必携（案）-2021年版-

※土木工事共通仕様書も令和6年9月を適用すること

## 4. 竣工図作成要領について P11

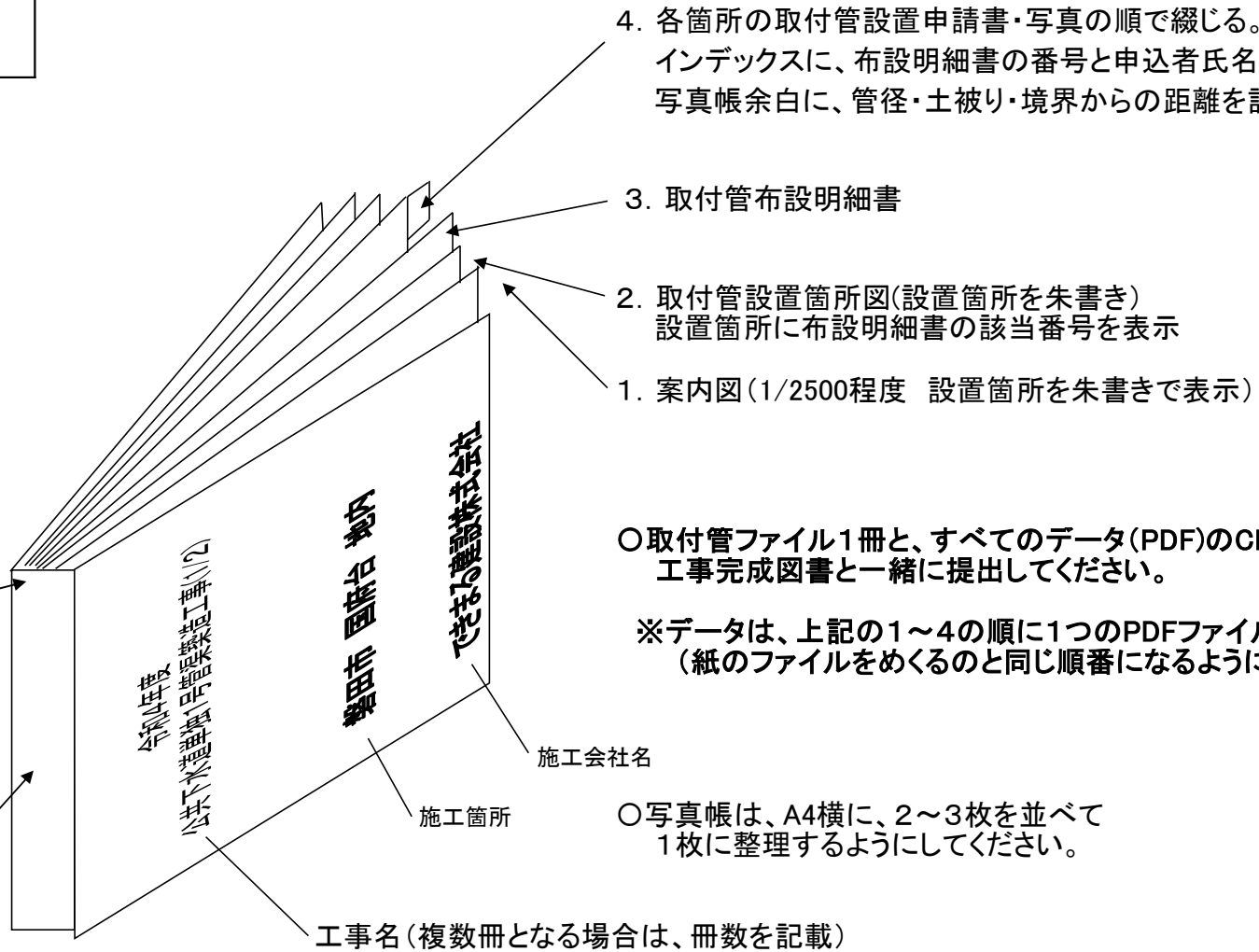
## 5. その他

施工会社から出た要望事項について

## ファイル作成例

令和7年度  
A4版 灰色

背表紙の上部1cm程度を  
空けておいてください。  
(上下水道総務課にて書き入れたい  
事項があるため)



テプラ・ネームランドを用いて  
背表紙に工事名を記入する

## 取付管布設明細書

工事名 \_\_\_\_\_

施工業者名 できまる建設(株)  
 作成者名 できまる一郎

番号	人孔番号	位置 下流 (m)	左右	申込者氏名	取付管延長 (m)	土被り (m)	摘要 (口径)
1	513-1	33.0	左	磐田 太郎	2.60	0.90	φ100
2		44.2	右	磐田 花子	2.60	0.80	φ100
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

単位を入れずに、数字のみ入力してください。

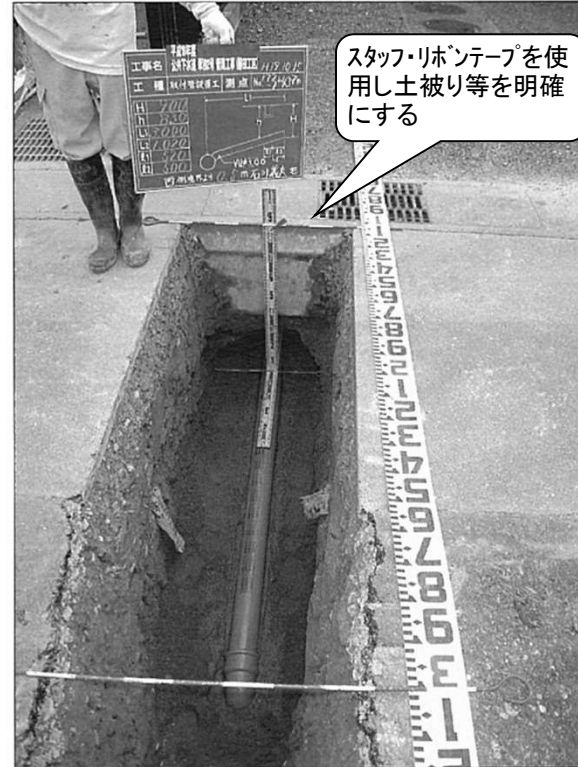
上流マンホールから下流マンホールを望み取付管が  
左右どちらに出ているかを入力してください。

ファイルが2冊以上となった場合でも、番号は連番にしてください。

取付管未設置の方は後ろにまとめて記載してください。

番号	人孔番号	位置 下流 (m)	左右	申込者氏名	取付管延長 (m)	土被り (m)	摘要 (口径)
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							

## 下水道取付管の写真撮影方法



- ① 取付管の位置や深さが分かるようにスタッフ、リボンテープを使用し、黒板に寸法を記入すること。
- ② 写真帳余白にも、口径・土被り・境界からの距離を記入すること。
- ③ 舗装完了時には、設置位置に青い笠のピンを設置のこと。
- ④ 取付管1箇所毎に、2~3枚の写真をA4サイズ(横)の紙1枚にまとめること。

# 取付管設置申請書回収時の注意事項

「取付管設置申請書」を回収する際は、土地所有者の情報や画地が記載されている「公図」を必ず持参してご対応ください。




参考資料 1

## 「公共下水道取付管設置申請書」記載例

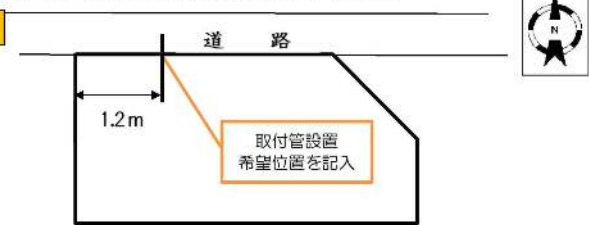
様式第 1 号 (第 5 条関係)① (未整備区域) 整理番号

**【記載例】公共下水道取付管設置申請書**  
令和 6 年 8 月 1 日

磐田市長 宛

申請者が記入し、押印してください。	申請者	住所	磐田市国府台 3-1	
		氏名	磐田 太郎	
		電話	0538-58-3281	
取付管を設置する土地の所有者が記入し、押印してください。	土地所有者	住所	磐田市見付 1 番地 1 (持ち分 2 分の 1)	
		氏名	静岡 次郎	
		電話	0538-58-3288	
下水道に接続する家屋の所有者が記入し、押印してください。	家屋所有者	住所	磐田市国府台 3-1	
		氏名	磐田 太郎	
		電話	0538-58-3281	

[申請場所に対して上記土地所有者以外に関係する方がいる場合は裏面にも記載してください。]

1 設置する場合	設置場所	取付管を設置すると ◆ 一体利用している土地を含め受益者負(分)担金が賦課されます。 ◆ 受益者負(分)担金の賦課についての責任は申請者が請け負います。 (賦課対象地が不明な場合は上下水道総務課へお問い合わせください) 上記について承知したうえで、磐田市公共下水道取付管設置基準に関する告示第 5 条の規定により取付管設置を申請します。 申請者署名 <b>磐田太郎</b> <span style="float: right; font-size: small;">手書きしてください。【印刷不可】</span> ※自署をお願いします
	建物状況	磐田市 国府台 3-1 <span style="float: right; font-size: small;">設置場所を記入してください。</span> 自宅 (空家) 借家 (軒) 空き地 アパート (世帯数 戸数) 工場 事務所 空き家 倉庫
	設置希望箇所図	※北を上にして、土地と道路、設置場所を記入してください。 
	設置相談がしたい方は日中に連絡が取れる電話番号を記入 090-1234-5678	

\*\*\*\*\*今回取付管設置を希望しない場合は裏面への記入が必要です\*\*\*\*\*

必ず記入

画地の中の全ての地番

(裏面)

2 希望しない場合	下水道供用開始後の5年間は取付管設置ができないことを承知したうえで設置を希望しません。	
	場所	磐田市 国府台3-1
	理由	「東側から設置したいため」など、見送る理由を書いてください。

土地所有者以外の権利者 (取付管を設置する土地にその他の権利〔地上権・質権・使用貸借・賃貸借〕を有する者)		
3	権利の種類に○	住所名 電話番号
	○地上権 質権 使用貸借・賃貸借	磐田市中泉 101-11 磐田 三郎 0538-58-3287
	地上権・質権 使用貸借・賃貸借	

取付管を設置する土地にその他の権利(地上権等)を有する者がいる場合は、権利者を記入・押印してください。

裏面の土地所有者以外で取付管設置に関する土地所有者 (取付管を設置した土地と一体利用している土地の所有者)		
4	土地所在地 (磐田市は省略)	住所名 電話番号
	磐田市国府台3-1	(持分2分の1) 磐田市中泉 100-5 磐田 四郎 0538-58-3271

土地の所在地を記入してください。

①取付管を設置する土地のほか、②その土地と一体で利用する土地があり、①と②の土地の所有者が異なる場合、②の土地所有者が記入・押印してください。

施 工 業 者 記 入 欄 (申請者が記載する必要はありません。)	
会 社 名	
担 当 者 氏 名	

\*\*\*\*\*  
 受益者負(分)担金について不明な点は  
 「上下水道総務課 給排水サービスグループ」にお問い合わせください。  
 TEL 0538-58-3086 Fax 0538-58-3123  
 \*\*\*\*\*

撮 影 箇 所 及 び 立 会 一 覧 表 ( 開 削 )

特記仕様書第19条関係

区 分	工 種	種 別	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮 影 頻 度	提 出 頻 度	立 会 い	備 考
着 手 ・ 完 成	着手前		路線上で外観を入れる (日付け記載)	着 手 前	着手前1回 1路線2方向より	全て		着手前と同じアングルで、対比がしやすいように撮影すること。
	完成		着手前と同一方向の場所 (日付け記載)	完 成 後	完成後1回 1路線2方向より	全て		
共 通 仮 設	準備工		試験掘削	施 工 前	箇所毎に1回 必要に応じて	全て	必要に応じて	
	安全施設工		工事看板・掲示物・安全施設	施 工 中 夜 間	必要に応じて	全て		
土	掘削	機 械	施工状況・幅・深さ	掘 削 中	1路線に1回	全路線の半数 以上	300m以下1箇所	提出については、各 土工定規を必ず含む こと。 延長が極端に短い場 合などは監督員との 協議による。  土砂等は仮置場での 積込状況から処分場 までを撮影するこ と。
		人 力					200m増す毎に1箇所	
	埋戻し	本 管	各層の締固め状況・仕上がり厚	締 固 め 時	1路線に1回 (管路部・人孔部)		300m以下1箇所 200m増す毎に1箇所	
		取 付 管	各層の締固め状況・仕上がり厚 水締め状況・側溝下の転圧状況	締 固 め 時	20箇所毎に1回	全て		
工	建設副産物	土 砂	ダンプトラック積込	掘 削 中	1路線に1回	土工に準じる		
	処分	As殻・Co殻等	各処分場	処 分 状 況	処分場毎に1回	全て		
	土留工	矢 板	設置状況・根入長	設 置 後	1路線に1回	土工に準じる	300m以下1箇所	
		腹 起 ・ 切 梁	設置状況				200m増す毎に1箇所	
	水替工		ポンプの規格・据付状況	設 置 後	箇所毎に1回	全路線の半数 以上	必要に応じて	
			ウェルポイントの設置状況					
			水替え前の地下水位等	掘 削 中				
			排水路の清掃状況	清 掃 後		全て		
電力設備		機器類・配電状況	設 置 後		全て			

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	立会い	備考
仮設	覆工		構造	設置中・後	設置箇所毎に1回	全て	必要に応じて	
基礎	管体基礎工	砕石基礎	幅・厚・締固め状況	施工中・後	1路線に1回	土工に準じる	300m以下1箇所 200m増す毎に1箇所	
基礎	管体基礎工	砂	幅・厚・締固め状況	施工中・後	1路線に1回	土工に準じる	300m以下1箇所 200m増す毎に1箇所	
		杭	形状・寸法・間隔 打込み状況	建込み中	打込みは1本毎			
		枕土台	間隔・据付状況	設置後	1路線に1回			
		はしご胴木	間隔・据付状況	設置後	1路線に1回			
管渠	管渠布設	本管	管布設・接合部 管切断	布設中・布設後 切断後	1路線に1回	土工に準じる	300m以下1箇所 200m増す毎に1箇所	
		取付管	管布設状況 支管取付	取付完了後 全体・取付後	20箇所に1回 (取付管ファイル別途)	全て		
人孔		人孔基礎工	幅・厚・締固め状況	施工中・後	人孔毎に1回	種別毎に半数以上	種別毎に1箇所	
		躯体	据付状況・高さ	据付中・後	人孔毎に1回			
		人孔埋戻工	埋戻し状況	施工中・後	種別毎に1回	全て		
		削孔	削孔状況	削孔中	箇所毎に1回	全て		
		可とう継手	管接続状況	接続後	10箇所に1回			
		副管	取付状況	取付後	箇所毎に1回			
		取合	マンホールと管渠接合	取付後	種別毎に1回			
		コンクリート	幅・厚・高さ・型枠・打設状況	据付中・後	工種毎に1工程			
		鉄筋	背筋状況	据付中・後	工種毎に1工程			
		足掛金物	取付状況	取付後	人孔毎に1回	種別毎に半数以上		
		底部工	打設状況	打設後	人孔毎に1回			



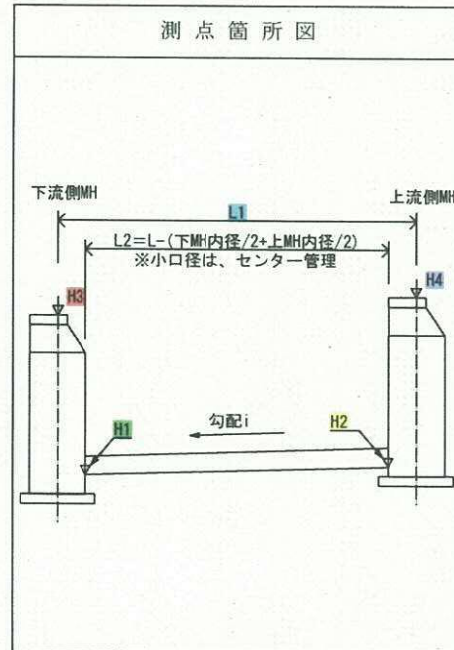
区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	立会い	備考
付帯工	舗装工	舗装切断工	切断状況・厚さ	施工中・後	200m毎に1回	全て		
		舗装版破碎	取壊し状況	施工中				
		路盤すきとり	すきとり状況	施工中				
		路盤工	敷均し厚・転圧状況	施工中・後				
		不陸修正	修正状況	施工中・後				
		仮復旧工	施工状況・厚さ	施工中・後				
		表層工	掘設状況	施工中				
		区画線工	施工状況	施工中	種別毎に1回			
占有物			他占有物件の防護状況	作業中	必要に応じて	全て	必要に応じて	
材料	材料検収	管材 マンホール 取付管・柵 コンクリート製品	形状寸法・数量	検収時	製品毎に1回	全て	二次製品各品目ごとに 1回	

延長・管底高・天端高・勾配 測定結果一覧表

建設工事名 \_\_\_\_\_

管布設 PRPφ200・組立マンホール 延長・管底高・天端高・勾配 出来形管理表

測定項目	記号	摘要
延長	L1	
延長	L2	
下流基準高	H1	
上流基準高	H2	
下流天端高	H3	
上流天端高	H4	
勾配	i	



受注者名 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_

測定項目	測点	(A) 設計値	(B) 実測値	(C)=(B)-(A) 差	規格値	社内規格値	(D) 検査測定値	(E)=(D)-(A)
	3349-3 (0号)~3349-2 (0号)							
延長	L1	50.900	50.950	+50	-102	-51	50.950	+50
延長	L2	50.150	50.200	+50	-100	-50	50.200	+50
下流基準高	H1	2.495	2.493	-2	±30	±15	2.493	-2
上流基準高	H2	2.597	2.604	+7	±30	±15	2.603	+6
上流天端高	H4	4.300	4.288	-12	±30		4.288	-12
勾配	i	2.03	2.21	+0.18	±0.41		2.19	+0.16
	3349-2 (0号)~3349-1 (小口径)							
延長	L1	8.600	8.635	+35	-17	-9	8.635	+35
延長	L2	8.225	8.260	+35	-16	-8	8.260	+35
下流基準高	H1	3.055	3.054	-1	±30	±15	3.055	±0
上流基準高	H2	3.072	3.073	+1	±30	±15	3.072	±0
下流天端高	H3	4.300	4.288	-12	±30		4.288	-12
上流天端高	H4	4.270	4.294	+24	±30		4.294	+24
勾配	i	2.07	2.30	+0.23	±0.41		2.06	-0.01
	3345-1 (1号)~3343-2 (小口径)							
延長	L1	73.900	73.920	+20	-148	-74	73.920	+20
延長	L2	73.450	73.470	+20	-147	-74	73.470	+20
下流基準高	H1	1.785	1.791	+6	±30	±15	1.793	+8
上流基準高	H2	1.933	1.947	+14	±30	±15	1.945	+12
上流天端高	H4	4.220	4.190	-30	±30		4.193	-27
勾配	i	2.01	2.12	+0.11	±0.40		2.07	+0.06

建設工事名

管布設 PPRΦ200・組立マンホール 延長・管底高・天端高・勾配 測定結果一覧表

受注者名

測定者

測定項目	測点	(A) 設計値	(B) 実測値	(C)=(B)-(A) 差	規格値	社内規格値	(D) 検査測定値	(E)=(D)-(A)
	3343-2 (小口径) ~ 3343-1 (1号)							
延長	L1	72.900	72.975	+75	-146	-73	72.975	+75
延長	L2	72.450	72.525	+75	-145	-73	72.525	+75
下流基準高	H1	1.933	1.947	+14	±30	±15	1.948	+15
上流基準高	H2	2.079	2.079	±0	±30	±15	1.945	+12
下流天端高	H3	4.220	4.190	-30	±30		2.075	-4
上流天端高	H4	4.270	4.255	-15	±30		2.075	-4
勾配	i	2.02	1.82	-0.20	±0.40		4.193	-27
							4.190	-30
							4.256	-14
							4.255	-15
							1.75	-0.27
							1.79	-0.23
	3343-1 (1号) ~ 3343-2 (小口径)							
延長	L1	46.400	46.405	+5	-93	-47	46.410	+10
延長	L2	45.950	45.955	+5	-92	-46	45.960	+10
下流基準高	H1	2.965	2.959	-6	±30	±15	2.959	-6
上流基準高	H2	3.058	3.064	+6	±30	±15	3.065	+7
下流天端高	H3	4.270	4.255	-15	±30		4.255	-15
上流天端高	H4	4.270	4.279	+9	±30		4.275	+5
勾配	i	2.02	2.28	+0.26	±0.40		2.31	+0.29

測定項目	測点	(A) 設計値	(B) 実測値	(C)=(B)-(A) 差	規格値	社内規格値	(D) 検査測定値	(E)=(D)-(A)
	3343-1 (1号) ~ 3343-1 (小口径)							
延長	L1	90.000	90.065	+65	-180	-90	90.065	+65
延長	L2	89.550	89.615	+65	-179	-90	89.615	+65
下流基準高	H1	2.397	2.394	-3	±30	±15	2.394	-3
上流基準高	H2	2.577	2.588	+11	±30	±15	2.394	-3
下流天端高	H3	4.270	4.255	-15	±30		2.584	+7
上流天端高	H4	4.210	4.190	-20	±30		2.588	+11
勾配	i	2.01	2.16	+0.15	±0.40		4.256	-14
							4.255	-15
							4.189	-21
							4.190	-20
							2.12	+0.11
							2.16	+0.15

## 磐田市下水道工事竣工図作成の注意事項

### 【 CADデータ で作成 】

縮 尺 お渡しするCADデータは、A3またはA1サイズで作成してあるので、図面縮尺の変更を必ず行うこと。  
例：平面図の縮尺「1：500」を「1：1,000」に変更

平面図 管 路 施工数量を1cm単位まで記載し、マンホール間の図面長においても整合を図る。  
法線変更の路線は、平面図と横断図においても整合を図る。

人 孔 規格変更の人孔は、記号においても整合を図る。

取付管 上流マンホールからの距離を記入。図面の位置整合を図る。

管径を記入 例：φ100

管延長を記入（1cm単位） 例：2.75

管土被り深をカッコ書きで記入（1cm単位） 例：（1.05）

（取付管データの記載スペースが無い図面では、引き出し線による記載可）

縦断図 数値、文字、測点 等 に変更がある場合には修正する。

横断図 法線、掘削深 等 に変更がある場合には修正する。

その他 ガス・水道・排水管等が工事で明らかになり図面と異なる場合には修正する。

下水道工事に併せてガス・水道等を布設した場合も同じとする。

平面図の氏名に変更ある場合は、取付管申請書により修正する。

右下の「実施」もしくは「変更」を「竣工」に替える。

図枠内の「磐田市」を「施工会社名」に替える。

### 提出物

竣工図CADデータ SFCファイルにてCD（DVD）で提出

電子納品による工事写真と同じ媒体内に、分かるようにフォルダ分けしてもよい。

★ 竣工図は、下水道台帳（管網図）に反映され、後々に残るものです。

誤りのないよう、よく確認して提出してください。